

かすような簡単な遊びによって、バスの動きに体が慣れるようにしていきましょう。

どのタイミングでどのようなバスレクを行うかをプログラムするには、バスが走るコースをよく知っていなければなりません。旅行前に現地までのバスのコースを先生に聞いたり、地図で調べたりして、どこでバスレクをはじめるのか、休憩時間をどこで取るのかを考えておきましょう。

●あそびのブームのきっかけに

「バスレクでやったあの遊びをやりたい！」旅行のあとのクラスでそんな声が出たらすてきですね。バスレクで使える遊びは、いつでもどこでも誰とでも短時間でできるのが魅力です。バス旅行がクラスの遊びブームのきっかけになればいいですね。

先生方へ

子どもたちの遊び世界に電子ゲームやYouTubeなどのインターネット文化が深く入り込み、子どもどうし、コミュニケーションを活発におこないながら遊びを発展させていくことが困難になってきています。遠足や移動教室などの長時間生活を共にする行事は、そうした「日常」から離れ、生のふれあいを通して、友だち関係を深めていく大きなチャンスです。子どもたちが自ら遊び出し、笑顔あふれる関係と空間をつくり出し、一声かければみんながすぐに参加でき遊ぶことができるような遊び文化にあふれたクラスをつくるきっかけになることを願ってこの本を書いています。

遊びは子どもの主食であり、生きることそのものです。遊びを通して子どもたちはいのちのエネルギーを最大限に発揮し、成長していきます。その真ただ中にいられるのが何よりの醍醐味です。子どもたちの魂をゆさぶるような「遊ぼう」という呼びかけの先頭にまず先生が立ってくださることを期待しています。

楽しいバスレクアイデアガイド3

決定版! バスレク・セレクションガイド

もくじ

どこでもいつでも誰とでも▶2	音あてゲーム▶44
じゃんけんリレー▶6	ダーツゲーム▶46
はないちもんめバスレクバージョン▶8	遊び道具を使わずに楽しむ▶48
でんでんむし▶10	室内遊び▶49
グリーンピース▶12	ダルマ落とし▶50
にらめっこ空うでずもう▶14	座布団リレー▶52
うそほんと▶16	バナナオニ▶54
じゃんけん関所▶18	フチオニ▶56
なんでもビンゴ▶20	成長じゃんけん▶58
手紙送り▶22	巨大リバーシ▶60
「ん」のつくことばリレー▶24	じゃんけんとり▶62
「鼻鼻」▶26	バルーン風船リレー▶64
いろはにこんべいとう▶28	3億円ゲーム▶66
シンメトリーゲーム▶30	ハンカチ取りオニ▶68
一筆描きリレー▶32	切り離しオニ▶70
ワンフレーズ歌リレー▶34	王さまとり▶72
中あてゲーム▶36	下剋上じゃんけん▶74
あんたがたどこさじゃんけん▶38	靴下リレー▶76
新聞レイ競争▶40	背文字送り▶78
リレー作文▶42	

じゃんけんリレー

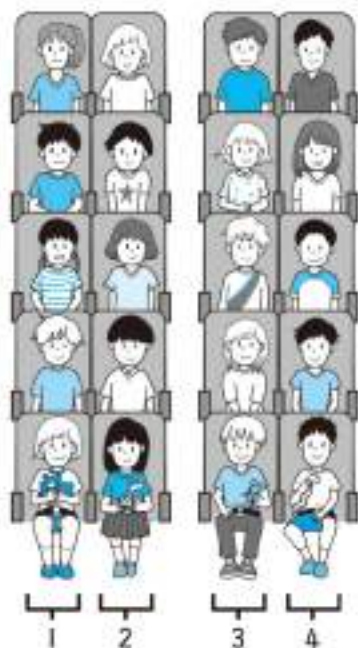
用意するもの

- バトンの代わりにぬいぐるみなど



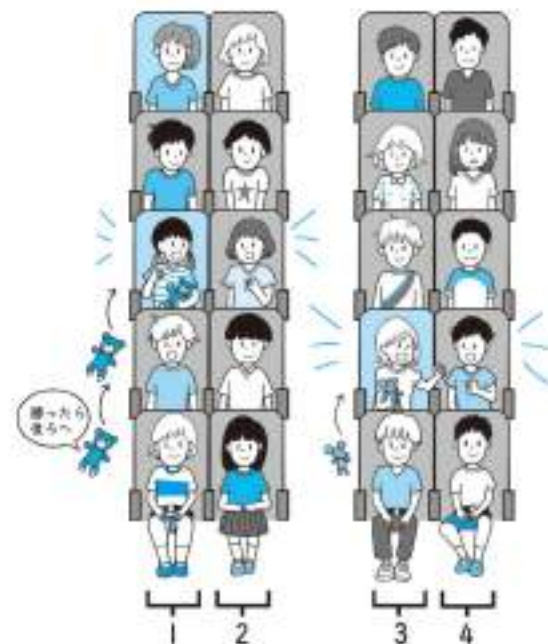
縦2列ずつの対抗ゲーム

- 1 1列目と3列目の人でリレーします。ぬいぐるみなどをバトン代わりにします。



- 2 1列目の人はとなりの2列目の人と、3列目の人は同じく4列目の人とじゃんけんをし、勝つまでくり返します。

- 3 じゃんけんになったら後ろの席の人にぬいぐるみを送ります。



- 4 いちばん後ろの席の人がじゃんけんをして勝ったら終わりです。



- 5 次に2列目と4列目でリレーをします。2列目は1列目と4列目は3列目とじゃんけんをします。

- 6 勝った列どうし、負けた列どうしでリレーをして、順位を決定します。

はないちもんめバスレクバージョン

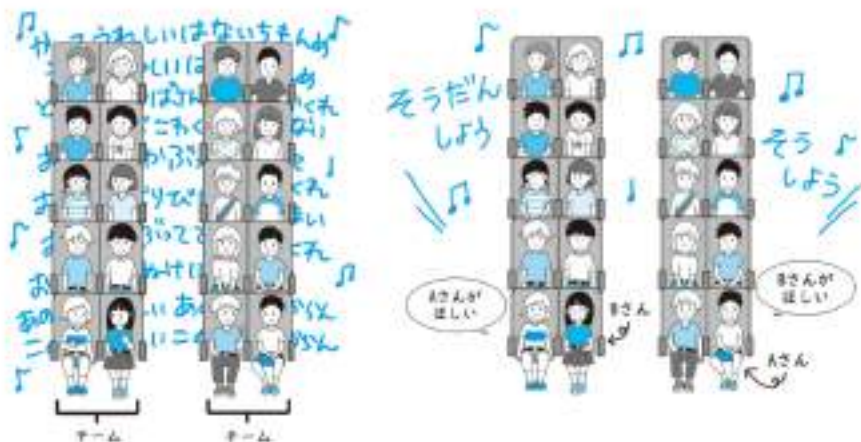
用意するもの

- ありません。

縦2列ずつの対抗ゲーム

通路をはさんで右の2列と左の2列で対抗し、ポイントを競います。

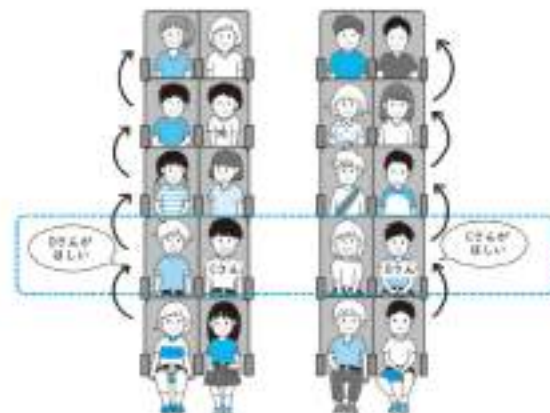
- 1 「そうだんしよう」「そうしよう」で、先頭の席の味方2人で相談し、相手チームの先頭の席の2人のうち、だれがほしいかを決めます。



- 2 「Aさんがほしい」「Bさんがほしい」で、AさんとBさんがじゃんけんをします。勝った方の列に1ポイント入ります。



- 3 次に前から2つ目の席の人が相談し、じゃんけんをします。



- 4 いちばん後ろの席の人が終わったら、それぞれの列のポイントを集計して勝敗を決めます。



*うた
 かってうれしいはないちもんめ
 まけてくやしいはないちもんめ
 となりのおばさんでてきておくれ
 おにがこわくていられない
 おふとんかぶってでてきておくれ
 おふとんびりびりいられない
 おかまかぶってでてきておくれ
 おかまそこぬげいられない
 あのこがほしい
 あのこじゃわからん
 このこがほしい
 このこじゃわからん
 そうだんしよう
 そうしよう

バリエーション

1. 全部の席で同時におこない、最初に相手の列の2人を奪った列を勝ちとします。
2. 全員で合わせておこなうのではなく、制限時間内に4人で何回もくり返して、ポイントを競い、その合計点で列の勝敗を決めます。